

あえかさんと行く!

かすかべアート散歩

新緑が鮮やかなすがすがしい季節、市内の彫刻やシャッターアートを巡るお散歩に出掛けませんか。屋外のスポットなら、マイペースに回れるので、小さなお子さんはもちろんペットとも一緒に楽しめます。かすかべ親善大使のあえかさんと愛犬ファルコンが、春日部のアートを一緒にご案内。お散歩に役立つ施設も紹介します。



あえか
春日部出身のシンガー・ソングライター。上沖小学校、大沼中学校を卒業。2013年にかすかべ親善大使に任命され、2015年には市の歌「心の空」を制作。過去には、ケーブルテレビの番組で春日部・岩槻のさまざまな場所を訪れ、街の魅力を伝えていた。

ファルコン
あえかさんの愛犬。8歳の男の子。いちご、ささみ、おいもが大好き。

▲伝統の季節菓子「花餅」を手に持った役者が描かれている和菓子店のシャッター

1 **アート散歩スタート!**

「ぶらっとかすかべ」で情報収集

春日部の情報発信館「ぶらっとかすかべ」には、街歩きの際の参考になる各種パンフレットを置いてあります。また、アート作品についての情報もスタッフがご案内。ここでしか手に入らない特産品の桐製品やかすかべフードセレクション(一部)も販売中。



私たちがご案内します!

ぶらっとかすかべ
火~日 9:00~16:30
粕壁1-3-4、TEL 048-752-9090

その他、観光ボランティアによる案内ツアーは12面をチェック

2 シャッターアートは営業時間前が狙い目!

春日部駅の東口周辺は、かつて粕壁宿と呼ばれた日光街道沿いの宿場町。今もお寺や蔵造りの建物といった風情のある街並みが残っています。その宿場町の面影を楽しむべくスタートしたのが「かすかべ景観再生プロジェクト」。粕壁宿の歴史を中心に、お店の歴史や由来なども絵巻物語風に描かれています。お店の営業時間前がシャッターアートを見られるチャンス!



▲江戸時代の文様が描かれた靴店のシャッター



▲黒川 晃彦 作「小さい花」(教育センター正面入口脇)

3 春日部に彫刻がある理由

平成元(1989)年の「ふるさと創生事業」の実施に当たって、市民にアイデアを公募。これをもとに市が「彫刻のある街づくりアート・アメニティ 構想」をまとめました。この構想に基づき、著名な彫刻家の作品が次々と春日部に置かれることになりました。



▲山本 正道 作「思い出」(古利根公園橋)



そろそろ休憩にしようかな!



4 親水テラスでひと休み

親水テラスの欄干に桐のテーブルを掛けて、近くのカフェでテイクアウトしてひと休み…川を眺めながら作曲することもあるあえかさん。「テーブルが借りられるなんて面白い試みですね。春日部には個性的なおいしいお店がいっぱいあるので、ここでみんなで持ち寄り楽しめたらいいですね。市の歌「心の空」で歌われている風景がここにありました。

桐のテーブル貸し出し中

現在、ぶらっとかすかべでは、親水テラスの欄干に引っ掛ける簡易テーブルを貸し出し中です。天板に特産品の桐のまな板を活用。「使いたい!」という人は前日の月~(金)8:30~17:15までに春日部市観光協会(TEL 048-812-5304)へ相談を。使えるのは火~日9:00~16:00です。



▲廣嶋 照道 作「あのね」(武井医院前歩道)

春日部グルメを「旨っぷ」で探す

春日部駅周辺で旨いもの処、飲み食い処、カフェなどを探したい場合は春日部市観光協会が運営するサイト「旨っぷ」が便利です。



▲「旨っぷ」サイト



赤ちゃんとの散歩も安心

外出中、おむつ替えや授乳が必要になったときに、気軽に立ち寄れる「赤ちゃんの駅」が市内各所にあります。目印は「クレヨンしんちゃん」の野原一家のステッカーです。



▲設置場所一覧

5 地下通路を通して西口へ

春日部駅の東口と西口をつなぐ地下通路は「海底水族館」になっています。階段を下りると砂岩の壁に描かれた海の生き物たちや海底遺跡がお出迎え。壁や天井の随所にはだまし絵も描かれています。



ゴール!
現庁舎と一緒に見られるのはあとわずか…!



▲加藤 豊 作「大空」(市役所正面玄関前)

お散歩を終えて…

「住んでいるまちでも、彫刻やシャッターアートなど意外とまだ知らないことも。シャッターアートを見て回る。彫刻を全部写真に撮ってSNSに投稿する。ただお散歩するだけでなく、そういったことを目的にすると、ゲーム性が出て面白くなるんじゃないかな」とあえかさん。なんとなく通り過ぎていた風景を改めて巡ってみてはいかがでしょうか。

アート作品の解説はこちら



▲彫刻一覧



▲シャッターアート一覧